

平成 1 7 年度
高松市牟礼地区地域審議会会議録
第 1 回会議

と き：平成 1 8 年 3 月 3 0 日（木）

ところ：牟礼支所 東館 2 階 第 1 会議室

平成17年度 高松市牟礼地区地域審議会会議録 第1回会議

1 日時

平成18年 3月30日（木） 午前10時開会・午後0時閉会

2 場所

牟礼支所 東館2階 第1会議室

3 出席委員 15人

委員	井 田 和 昭	委員	坂 本 英 之
委員	井 上 孝 志	委員	渋谷 和 美
委員	井 上 赳 夫	委員	中 野 都 子
委員	蔭 久 正 順	委員	新 谷 稔
委員	川 田 ヒロミ	委員	濱 川 憲 博
委員	川 浪 正 二	委員	村 上 貞 夫
委員	河 野 千 代	委員	山 田 一 夫
委員	斎 藤 隆		

(50音順)

4 欠席委員 なし

5 行政関係者 25人

高松市長	増 田 昌 三	健康福祉部
牟礼支所長	三 野 重 忠	健康福祉総務課長補佐
企画財政部		多 田 雄 治
部長	岸 本 泰 三	長寿社会対策課長 西 川 典 生
参事	林 昇	環境部

次長（企画課長事務取扱）	井 上 哲	次長（環境業務課長事務取扱）	田 中 豊 彦
企画課合併推進室長	加 藤 昭 彦	産業部	
企画課企画担当課長補佐	秋 山 浩 一	観光課長	国 方 聖 三
企画課企画担当課長補佐	諏 訪 修 司	都市開発部	
企画課企画員	佐々木 永 治	都市計画課交通対策室長	稲 葉 秀 一
市民部		公園緑地課長	氏 部 幸 男
部長	間 島 康 博	公園緑地課長補佐	宮 脇 雅 彦
市民生活課長	久 利 泰 夫	公園緑地課副主幹	生 山 登
市民生活課主幹	村 上 和 広	土木部	
市民生活課長補佐	加 茂 富 義	次長（道路課長事務取扱）	稲 垣 基 通
市民生活課長補佐	清 谷 文 孝	道路課長補佐	川 東 敬 幸
市民生活課主席主任	奥 榮 子		

6 事務局（牟礼支所） 6人

支所課長	原 田 典 子	主席主任	黒 川 正 俊
支所課長補佐	四 角 行 信	主席主任	加 藤 将 門
管理係長	中 村 憲 昭	主任主事	井 上 政 治

7 オブザーバー 2人

高松市議会議員	高 木 英 一	高松市議会議員	三 野 ハル子
---------	---------	---------	---------

（50音順）

会 議 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 会長・副会長の選任

4 会議録署名委員の指名

5 協議事項

平成18・19年度合併基本計画実施計画について

6 その他

(1) 今後の予定について

(2) その他

7 閉会

午前１０時 開会

会議次第１ 開会

○事務局（四角課長補佐） それでは、お待たせをいたしました。予定の時刻がまいりましたので、ただいまから牟礼地区地域審議会第１回会議を開きます。

委員皆様方には、何かと御多忙中のところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

この地域審議会の会議でございますが、議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として、私、四角が進行させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、合併協議会の中で、本地域審議会の会議は公開とすることとなっております。また、傍聴につきましては、本審議会の協議第９条により傍聴内規を定め、傍聴人の定員を２０人とし、傍聴の手順等を定めておりまして、本日の会議につきまして傍聴をいただいております。

また、牟礼地区から選出されております市議会議員、高木議員さん、三野議員さんにはオブザーバーとして出席をいただいておりますので、併せてよろしくお願い申し上げます。

なお、傍聴人の方々におきましては、傍聴証の裏面にあります事項を遵守していただき、審議会の審議を妨げることはないよう、よろしくお願いいたします。

会議次第２ あいさつ

○事務局（四角課長補佐） それでは、会議に入らせていただきます。

はじめに、開会に当たりまして、増田高松市長よりごあいさつを申し上げます。

○増田市長 皆さん、おはようございます。開会に当たりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。

本日は、第１回目の牟礼地区地域審議会を開催いたしましたところ、皆様方には年度末を控え、大変お忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。

また、１月１０日の合併から約２か月半が経過いたしました。牟礼支所の業務につきましては、委員皆様方を始め、町民皆様の深い御理解と御協力によりまして、落ちて

いてまいっておりますこと、厚く御礼を申しあげる次第であります。

当審議会は、牟礼地区のこれからのまちづくりについて、委員皆様方から様々な御意見を伺いながら、合併協議の中で取りまとめられました建設計画の効果的な実施に努めたいと存じております。

私といたしましては、町内に数多く残されております源平屋島合戦の史跡や、また世界的に質の高い庵治石の産地として古くから営まれてきた石材業など、牟礼地域の特性を生かしたまちづくりを積極的に進め、牟礼地域はもとより、市民皆様に合併して良かったと実感していただけるような、魅力と活力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと存じております。

どうか委員皆様方には、牟礼地域の更なる発展のため、格別の御理解と御尽力を賜りますようお願いを申しあげ、開会のごあいさつとさせていただきます。

なお、誠に恐縮ですが、私、今日、12時から本庁の方で行事を持っておりますので、途中で中座することをお許し願いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

どうもありがとうございました。

○事務局（四角課長補佐） 続きまして、三野牟礼支所長から、ごあいさつを申し上げます。

○三野支所長 おはようございます。支所長の三野でございます。一言、お礼のごあいさつを申し上げたいと思います。

委員の皆さんには大変御多忙の中、また、市議会のお二人の先生方には大変お忙しいところ、御参加いただきありがとうございます。

今、市長さんがおっしゃったように1月10日の合併以来、約2か月半経つわけですが、この牟礼支所も、皆さん方の御協力と御指導によりまして、今、安定をしておるといいますか、落ち着いておるわけでございます。職員一同、今後ともしっかり業務に邁進していきたい、このように考えておるところでございます。

実は、先日、職員からお聞きしたところによりますと、古高松・屋島の住民の方が、この支所で印鑑証明あるいは住民票を取りに来られておるということで、国道のすぐお隣という利便性はあるわけですが、合併の効果が出ているんじゃないのかなあと、私流に考えておるところでございます。

今日は、初めての審議会ということでございます。いろいろ御発言をいただいて、しっかりしたものを作っていきたい、このように考えております。この牟礼地区が、新生

高松の東部の拠点になるように、委員の皆さんと一緒に、また、職員一丸となって頑張っていきたいと思いますので、御指導と御協力をよろしくお願いしたいと思います。

また、市長さんには、27日月曜から毎日、支所に出向いて来られ、今日、30日、牟礼ということで、本当にお疲れでございます。

今後とも変わらぬ御指導をお願いして、大変簡単でございますけれども、ごあいさつに代えさせていただきたいと思います。

皆さん、本日は御苦勞様でございました。

○事務局（四角課長補佐） ありがとうございます。

本日は、本地域審議会の最初の会議でございますので、お手元の牟礼地区地域審議会委員名簿に基づきまして、委員の皆様を御紹介させていただきます。

井田和昭委員さんでございます。

井上孝志委員さんでございます。

井上赳夫委員さんでございます。

蔭久正順委員さんでございます。

川田ヒロミ委員さんでございます。

川浪正二委員さんでございます。

河野千代委員さんでございます。

斎藤隆委員さんでございます。

坂本英之委員さんでございます。

渋谷和美委員さんでございます。

中野都子委員さんでございます。

新谷稔委員さんでございます。

濱川憲博委員さんでございます。

村上貞夫委員さんでございます。

山田一夫委員さんでございます。

続きまして、高松市の出席者を紹介させていただきます。

市民部長の間島康博でございます。

企画財政部長の岸本泰三でございます。

企画財政部参事の林 昇でございます。

企画財政部次長の井上哲でございます。

企画課合併推進室長の加藤昭彦でございます。

企画課企画担当課長補佐の秋山浩一でございます。

企画課企画担当課長補佐の諏訪修司でございます。

企画課企画員の佐々木永治でございます。

市民生活課長の久利泰夫でございます。

市民生活課主幹の村上和広でございます。

市民生活課長補佐の加茂富義でございます。

市民生活課長補佐の清谷文孝でございます。

市民生活課地域振興係の奥榮子でございます。

続きまして、この機会に本地域審議会の事務局職員を紹介させていただきます。

事務局は牟礼支所で担任することとなっております、紹介をさせていただきます。

支所課長の原田典子でございます。

私、支所課長補佐の四角行信でございます。

管理係長の中村憲昭でございます。

管理係の黒川正俊でございます。

業務第一係の井上政治でございます。

管理係の加藤将門でございます。

以上で事務局を担当しますので、よろしくお願い申し上げます。

○事務局（四角課長補佐） それでは、まず、本日の地域審議会の出席者の御報告をいたします。

本日の出席委員数は15名で、本審議会協議第7条第4項により、会議開催に必要な委員の半数以上でございます。この会議は成立します。

会議次第3 会長・副会長の選任

○事務局（四角課長補佐） それでは、これより会議次第3の会長・副会長の選任に移らせていただきます。

本審議会の会長の選任につきましては、本審議会協議第6条により、委員の互選ということとなっておりますが、去る2月17日の牟礼地区地域審議会事前説明会の折、委員の皆様より、会長の選任につきましては事務局に一任との御意見をいただいております。

すが、そのように進めさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○事務局（四角課長補佐） はい、ありがとうございます。

異議なしということでございますので、原田支所課長から事務局案を申し上げます。

○事務局（原田課長） それでは、事務局案を申し上げます。

事務局案として、会長は、当初からの合併協議会の委員であり、また、町議会議員も長く務められ、行政にも精通しておられる濱川憲博委員にお願いしたいと存じます。

○事務局（四角課長補佐） 事務局案として、会長は濱川委員にという提案がありましたが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○事務局（四角課長補佐） ありがとうございます。

それでは、本地域審議会会長として濱川委員を選任することについて、賛成の方、恐れ入りますが挙手をお願いいたします。

〔挙手過半数〕

○事務局（四角課長補佐） 賛成多数ですので、濱川委員が本地域審議会会長として選任されました。

それでは、濱川会長に早速、お席の方にお移りいただきまして、以後の議事進行をよろしくをお願いいたします。また、一言、ごあいさつをお願いいたします。

「濱川委員、会長席へ移席」

○議長（濱川会長） 皆さん、おはようございます。ただいま委員の皆様方の御推挙によりまして、会長を拝命いたしました濱川でございます。

何と申しましても、私自身、浅学非才でございまして、非常に皆様方の御期待に添うことができますかどうか不安ではございますが、委員皆様方の一人ひとりの御協力を賜りまして、本審議会の初期の目的達成ために、微力ではございますが、努力してまいりたいと思いますので、最後まで御協力をよろしくお願い申しあげまして、簡単でございますが、あいさつに代えさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、本審議会の規約によりまして、これから本審議会の会を、規約の中では会長が議長を務めるとうたわれておりますので、私の方が本日の議長を務めさせていただきたいと思います。

それでは、続きまして副会長の選任に入りたいと思いますが、いかがいたしましょう

か。

[「会長一任」の声あり]

○議長（濱川会長） 他に。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（濱川会長） 会長一任で、異議なしの声多数でございますので、旧牟礼町議会議員でもありますし、高松市との合併協議会の委員として御活躍いただいております齋藤隆さんをお願いをしたいと思います。

齋藤さん、よろしく願いいたします。お席の方へ来て、一言、ごあいさつを賜りたいと思いますので、よろしく願いをいたしたいと思います。

[齋藤委員、副会長席へ移席]

○齋藤副会長 ただいま、本会の副会長を御推挙いただきました齋藤でございます。

本会の重要性というか、任務は非常に重要でございます。したがいまして、町民の期待も、本会に対する関心も非常に高いと思います。

そんな中で、会長とともにですね、本会のまとめ役を仰せ付けられましたことで、全力投球で対処したいと思いますので、どうぞよろしくお願いをします。

○議長（濱川会長） それでは、議事に入ります前に、事務局の方で進行等についての説明があると聞いておりますので、説明を求めます。

○事務局（中村管理係長） はい、それでは、事務局より委員の皆様をお願いを申し上げます。

本地域審議会につきましては、会議録作成のため、御発言をされる場合には、まず、議長の許可を得た後、誠に恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押して、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされますようお願いを申し上げます。以上でございます。

会議次第 4 会議録署名委員の指名

○議長（濱川会長） それでは、次第第4の会議録署名委員の指名に入りたいと思いますが、会議録署名委員につきましては、本日、お手元に名簿がございます上の順から指名をしていきたいと思いますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（濱川会長） 無いようでしたら、本日の署名委員さんに井田委員さんと井上孝志委員さんをお願いをいたしたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

会議次第 5 協議事項 平成18・19年度合併基本計画実施計画について

○議長（濱川会長） それでは、次第5の協議事項に入っていきたいと思います。

次第5の協議事項でございますが、平成18年度・19年度合併基本計画実施計画について、担当部署より説明を求めます。

○井上企画財政部次長 はい、企画財政部の企画課、井上でございます。どうぞよろしくをお願いを申し上げます。私の方から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、牟礼地区合併基本計画の平成18・19年度の実施計画について、御説明を申し上げます。既に、実施計画を事前にお配りをしておりますので、お読みいただいていると思いますので、ここでは、ごく簡潔に説明をさせていただきますと思います。

それでは、お手元の合併基本計画の実施計画を御覧ください。めくっていただいて、目次の次の1ページをお開きを願います。

1ページでございますが、1ページは、合併の6地区の全体の実施計画の概要というふうになっておりまして、各合併協議会で10年間の建設計画や合併基本計画の策定をいたしておりますが、この建設計画等に基づきまして、今回、平成18・19年度の2年間において、重点的に実施しようとする事業や中心となるべき事業、また、特色のある事業を取りまとめた短期計画として作成をいたしましたものでございます。

1の策定の趣旨はそういう趣旨を書いております。2の実施計画の期間は、18・19年度の2か年とする。

3の実施計画事業は、6地区全体で、ここに掲げておりますように234事業、牟礼地区につきましては、75事業ということになっております。

次の2ページをお開きを願います。4が実施計画事業の概算事業費ということで、計画段階において想定される概算事業費を掲載したもので、6町全体のものを掲載いたしております。

次に、3ページでございますが、3ページからが牟礼地区の実施計画ということで、はじめにのところでは、合併基本計画において牟礼地区は、海、花、緑、石が調和した、

芸術・文化の香り高い快適な生活交流ゾーンとして位置づけられており、こうした役割と機能を踏まえて、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、牟礼地区のまちづくりを展開すると、そういった実施計画策定の趣旨を記載をいたしております。

真ん中の計画の期間は、平成18・19年度の2か年、実施計画の事業数は75事業で、牟礼地区のみの事業が38事業、市全体等の事業が37事業というふうになっております。

市全体等の事業と申しますのは、そのページの一番下の※印のところに書いてありますように、いわゆる、旧の高松市とか市域全体での事業、もしくは複数の地区で実施するということで、事業量が分割できないとか、事業費が区分けできないといったような性格のものにつきまして、市全体等事業というふうに掲げております。

その一番下の表が、概算事業費ということでお示ししておりますが、上段の牟礼地区のみの事業、38事業の概算事業費が8億2,830万円であり、市全体等の事業費を合計いたしまして、合計が右下の端でございますが、43億8,060万円が、この計画上の概算事業費であるということをお示しいたしております。

次、4ページをお願いいたします。4ページは、合併基本計画でのいわゆる市域区分、エリア区分のような形でゾーニングされたものを建設計画に載せておりますものをここに載せております。

それから、5ページからが実施計画事業の概要ということで、合併基本計画の5つのまちづくりの区分ごとに、それぞれのまちづくりと関係する事業を掲載いたしております。

①の「連帯のまちづくり」では、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、そういった連帯のまちづくりを進めるということで、点線囲いの中にありますように、地域包括支援センターの設置運営ほか3事業をこの計画書の中で掲げております。

②の「循環のまちづくり」では、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指して、循環のまちづくりを進めるということで、次の6ページになりますが、ため池の再編整備ほか8事業をこの計画書の中で掲げております。

③の「連携のまちづくり」では、安全、安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進めるということで、ポンプ場の整備ほか11の事業をこの計画書の中で掲げております。

7 ページに移りますが、④の「交流のまちづくり」では、歴史、石材加工技術などの地域資源を生かした、活力のあるまちの実現を目指して、交流のまちづくりを進めるということで、観光地屋島の活性化ほか9の事業をこの計画書の中で掲げております。

次に、8 ページをお開きを願います。⑤の「参加のまちづくり」では、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指して、参加のまちづくりを進めるということで、合併記念各種イベントの開催ほか6事業をこの計画書の中で掲げております。

9 ページ以降は、今申しあげた、それぞれの点線囲いの中に書かれております、具体的な事業の内容を説明したような形になっておりますが、既に資料の事前配布をいたしておりますので、以下の事業の詳細な説明につきましては、ここでは省略をさせていただきますが、それぞれの各事業につきましては、基本的には、2年間に、どういう事業を、どういう方針で実施するか、そして、より具体的な掲載ができる場合は、実施箇所とか、何箇所とか、実施量、例えば何メートルとか、何平米とか、そういった標記で記載をいたしておりますし、また、どんなスケジュールでやっていくか、といったようなことも示しておる、そういったものが実施計画事業の内容というふうになっております。

また、個別の説明で取り上げていない事業のうちでも、特に、建設計画の重点取り組み事項に関連のある事業について、5つのまちづくりごとに、最後に重点取り組み事項関連事業の推進として、まとめて記載しております、ここに掲げております事業の多くは、経常的に実施されているものでありますことから、説明はごく簡単に、ないしは、タイトルのみで事業内容が分かる場合は、タイトルのみ掲載をしているということで、最後のところに取りまとめをさせていただいております。

なお、この計画書は、本来的には事業内容、事業量を示すものでございますが、実施に当たっての想定される事業費を記載して、より分かりやすいものにすること、概算事業費、いわゆる計画額を掲載いたしております。

この事業費は、あくまで2年間の概算計画額ということで取りまとめたものでございまして、予算査定等で精査されていくものでございます。確定した事業費といった性格のものでないということを、ここで申しあげておきます。

また、牟礼町のみ事業の38事業、先ほど申しあげました2年間の計画額は8億2,830万円でございますが、18年度で予算化されました事業費が4億6,624万円、計画額の約56パーセント程度が18年度で予算化されているということでございます。

以上、個々の事業の事業内容につきましては、説明を省略させていただきますので、18・19年度の合併基本計画実施計画の説明とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上で終わります。

○議長（濱川会長） それでは、ただいま、説明をいただきましたが、この件につきましては、去る3月8日に委員の皆様方に集まっていたかしまして、審議会としての質問、要望について協議をさせていただいたところでございます。

その概要を事務局の方でまとめておりますので、この際、事務局からの説明を求め、発表をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（原田課長） はい、それでは、先ほど企画財政部井上次長から説明がありました、平成18・19年度合併基本計画実施計画について、委員の皆様方からいただきました御質問、御要望の取りまとめ方法・経緯について、事務局から御報告申し上げます。

委員の皆様から寄せられた御質問等は、お手元の資料H17-1-④と資料H17-1-⑤資料に掲載している内容のとおり、約40項目にわたる御意見等を合併基本計画に沿って、5つの基本目標、①の「連帯のまちづくり」から⑤の「参加のまちづくり」と施策ならびに事業名に沿って整理させていただきました。

そのうち、御意見を多くいただいている課題や地域全体の課題と思われる項目について、資料H17-1-④にありますように、4つの項目にまとめさせていただいております。

また、それ以外の御意見などにつきましては、資料H17-1-⑤にございますように、担当課からの書面回答をお手元に配布しているところでございます。御意見等の内容については、先般、委員の皆様へ御送付した資料と同様のものになってございます。

こうしたことから、本日は、資料の17-1-④の内容に関する担当課長が出席しておりますので、資料H17-1-④に沿って、重点的に御審議いただきたいと存じております。

また、書面回答分に関する御質問などについては、後ほど事務局にお尋ねいただきまして、事務局の方から関係課に連絡の上、後日、回答させていただきますので、御了承いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（濱川会長） 説明が終わったわけでございますが、より審議を深めていくために、会議を有意義なものとするため、テーマを絞った議論が必要かと思っております。

そのようなことで、本日の進行といたしましては、資料H17-1-④にあります4つのテーマに絞って、各担当課から説明をお願いし、その後、テーマごとに御意見、御質問を受けたいと思います。

なお、非常に重要な会議でございますが、残念ながら時間も限られておりますので、委員の皆様方は、簡潔にお願いして、予定の時間に終了できますことを、御協力の程、お願い申しあげたらと思います。

それでは、1番目の基本目標②「循環のまちづくり」に係る「道の駅むれおよび房前公園の整備」についてと「道の駅むれ物販等施設の整備」についてを一括して担当課から説明をお願いいたします。

○氏部公園緑地課長 失礼します。公園緑地課長の氏部と申します。よろしくお願いいたします。

まず、私のほうから房前公園の整備につきまして、御説明をさせていただきます。

房前公園につきましては、国道11号、道の駅むれから海側に開けております、房前の鼻付近、約2.15ヘクタールを公園といたしまして整備するものでございまして、国土交通省が、今回、平成18年度から整備に入ります、防災情報発信機能を備えた全国でも有数の規模の施設として整備をするということで、平成19年春に、道の駅が開設されるというふうにお聞きをいたしておまして、これに隣接した形で房前公園の整備に努めてまいるわけでございます。

計画でございますが、平成18年度に入りまして、早期に、まず、実施設計を行いまして、全体の、先ほど面積を報告しました2.15ヘクタール全体の粗造成、土地の粗造成に、まず、着手いたしまして、道の駅に隣接する、道の駅のすぐ北側の部分になりますが、約1ヘクタールの区域、ここの1ヘクタールについては、後ほど、観光課長の方から御説明いたします物販等の施設の敷地も含みますが、その区域の整備に着手いたしまして、多目的広場、遊具等の整備を行うという計画でございます。

19年度以降につきましては、展望桟敷、園路、広場、公園の駐車場など、残る施設整備に努めまして、平成21年度に整備を終える計画でございます。

公園完成後の管理につきましては、物販等施設等も含めて、今後、指定管理者制度等の検討を行ってまいりたいというふうに考えております。

以上、房前公園につきまして、一応、説明を終わらせていただきます。

○国方観光課長 観光課の国方でございます。よろしくお願いいたします。

物販等施設の整備でございますが、私ども観光課で実施をいたします。平成19年度の早い時期の開設を予定しております。

コンセプトといたしましては、国道利用者を始め、観光客や地域住民が、共に楽しめる交流拠点づくり、あるいは地場産業の振興・活性化をコンセプトといたしまして、これまでも牟礼町商工会を始め、漁協、石材組合など、地元関係団体から事業主体、事業方式、施設の内容等について、意見をお聞きする中で、基本計画を取りまとめているところでございます。

今後、新年度の補正予算に係る経費を計上して、国と連携・協力を図る中で、施設整備等に取り組んでまいりたいと存じます。

事業運営でございますが、今、公園緑地課からも申しあげましたように、指定管理者に運営を委託したいと考えておりまして、その下で、産直は地元農協、漁協、各種運営団体などと連携をとって実施していく計画でございます。

なお、施設として、どのようなものを検討しているかという御質問でございますが、物産・飲食・休憩機能をそれぞれ設けて、公園や海などの周辺環境に恵まれた立地条件を活かせる施設整備を計画しております。以上でございます。

○議長（濱川会長） ただいま説明がありました、1番目の基本目標②「循環のまちづくり」に係る「道の駅むれ」の関連について、御質問等がありましたら、御発言をお願いいたします。

○井上（孝）委員 議長。

○議長（濱川会長） はい。

○井上（孝）委員 井上です。

いっぺん全部、説明を聞いてからした方が、えんでないですか。今、市長さんが、言われたように時間的なこともあるので、これ一つひとつ言ったら時間が長くなるんじゃないか、と私、思いますけど。

○議長（濱川会長） それでは、お諮りいたします。

ただいま、井上委員さんの方から、進行についての御提案がありましたが、今回、4つのテーマを審議するということで進めてまいりましたが、それを一括して説明してもらい、それから後に、質問、意見等を賜ったらどうかという意見だったと思いますが、いかがいたしましょうか。

○議長（濱川会長） 御意見ございませんか。

[発言なし]

○議長（濱川会長） 無いようでしたら、従来どおり、一つひとつ進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたしたいと思います。

○議長（濱川会長） 基本目標の②「循環のまちづくり」、「道の駅」について、御質問ございませんか。

○新谷委員 はい。

○議長（濱川会長） はい、新谷委員さん。

○新谷委員 先ほどの公園の方のお話の中で、平成21年度までに公園整備も含めて完了予定ということで、18年度から実施設計ということですが、道の駅の物販関係については、もう既に、地域の人たちのいろんな有識者または業界の方々の御意見を聞く場を設けてということですが、公園に関しても、そういった地域住民の人たちの意見を取り入れながらという場面を作る予定があるのでしょうか。

○氏部公園緑地課長 はい。公園緑地課長の氏部でございます。

公園整備につきましても、先ほど説明いたしましたように、18年度に実施設計等に入りますので、地域住民の方々の意見をお聞きするという機会は設けたいというふうに考えております。以上です。

○新谷委員 是非、そういう機会を設けていただいてですね。先ほど冒頭に、市長のお話にもありましたように、庵治町とか牟礼町とかというのは、とりわけ石の町というイメージが強うございますので、当面、そういった施設整備については、景観上の問題もあろうとは思いますが、できるだけ石の町というものをイメージできるようなものを検討には入れていただきたいなあと考えております。よろしくお願いします。

○蔭久委員 蔭久です。

かなり大きな事業なんですけど、市内部の、また、市議会の時期云々の問題もあるんですが、地域住民に対しての周知といいましょうか、が、後手にまわっているような気がするんですけど、そのあたり、今後、どうお考えでしょうか。

○氏部公園緑地課長 先ほど、公園整備等につきまして、地域の皆様方の意見等を聞く機会という御発言もございましたので、できるだけ早い機会に、地域の皆様方に説明できる機会等をセットいたしたいと、それで、牟礼地区の皆様にご理解をいただきたいというふうに考えております。

○山田委員 山田です。

今回の事業につきましては、非常に大規模な事業になるんじゃないかならうかと思われ
ます。特に、高松の東部の拠点という形で道の駅ができるということで、我々は非常に期
待をしておるわけですが、やはり、集客力とといいますか、いかに人に来てもら
うかということが、一番の基本になるんじゃないかならうかと思います。

先ほども、市長さん、言われておりましたように、して良かったじゃないかというよ
うな施設にしてもらいたいというふうに思います。と言いますのは、この11号線も現
实的には、高速道路もでき、また、志度から高松栗林東ですか、ちょうど高松短大の横
を通過して抜ける道もできております。非常に車が分散しておるというような状況でござ
いますので、集客力も十分考えていただいて、して良かったでないかという形の道の駅
にしてもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

○氏部公園緑地課長 公園緑地課長の氏部です。

公園整備につきましては、道の駅に立ち寄っていただける方々も、房前公園からの瀬
戸内海の眺望が素晴らしいということを、是非、御覧になっていただきたいというよう
なことで、道の駅に立ち寄られた方にも、公園で時間をつぶしていただくというんです
か、そういうような整備の方向、また、地域の方々の交流できる場としての整備という
ふうな点につきましても重要かと思っておりますので、その点につきまして、先ほど説
明いたしましたように、早い機会に、地域の説明等を行ってまいりたいというふうに考
えております。以上です。

○議長（濱川会長） 他にございませんか。

○井上（孝）委員 井上です。

この件については、当初からいろいろ問題があつて、もめた地域でございますので、
その点は、十分配慮していただきたいと思うんですが。それで、18年度実施計画をな
さるという発言があつたわけですがけれども、この18年度の実施計画は、どういうふう
な形になるのか。それより前には、ある程度、地元の方へ降ろしておいていただかんと、
やはり、計画はできたよと、このとおりのよと、というようなことでは、皆さんも
御存知のとおり、また無駄な税金は使うなというような、立て看板も立ったり、非常に、
これについてはデリケートな問題を持っております。有り難いんは、有り難いんですけ
れども、それらのことで、あんまり抵抗のないような形で、きめ細かい行政をしていた
だければ、特に地域の方は、15年・16年の台風等で、あの地域は防災公園というよ
うな形で、していただいたら有り難いという地元の要望も出たりしておりますので、

我々としては、是非お願いしたいんですが。やはり、今の時代ですんで、住民パワーも、ややもすると、あらん方向へ走る場合もありますんで、もう二度と、過去の轍を踏まんような形でやっていただいて、なるほど牟礼に立派なものができたなとうらやむ。原の場合は、高松の一番東ということで、遅れてしまうということにもなりますんで、そういう地域の拠点ということも踏まえて、十分に対応してやっていただいて、立派なものができて良かったなと、最小の経費で最大の効果が挙がるなというような行政をやっていただければ、有り難いと思います。我々としては、全面的に協力はいたしますんで、その点、ひとつ御理解、よろしくをお願いいたしたいと思います。

○氏部公園緑地課長 公園緑地課長の氏部でございますが、先ほどの意見につきまして、話は変わりますけれども、私ども、市内の公園整備を行っておるところでございます、そういう公園整備につきましても、実施設計の段階で、地域の利用していただける方々の意見を、十分お聞きした中で、実施計画を立てて、それから工事に入っていくというふうな手順を踏んでおりますので、そのあたりは慎重に対応してまいりたいというふうに考えております。

○坂本委員 坂本です。

地場産業が石材ということで、公園の中にも、当然、石材を取り入れられると思うんですが、実際のところ、他の産業と一緒に、石材も中国から安価な製品が、どんどん入ってまして、加工離れがどんどん進んでいます。後継者もどんどん減っているのが実態です。

その中で、地元で作家活動とか、いわゆる職人さんですとかいう方を残すためにですね、公園の中に、そういう方々の作品を発表する場であるとか、そういうのを設けていただきたいと思います。安易に、よそから有名な先生の作品を、どんと並べて、公園ができましたよ、というようなのは、できるだけ無いようなことをお願いしたいと思います。

○氏部公園緑地課長 公園緑地課長の氏部でございますが、先ほどの意見につきまして、今後、地元の説明会といいますか、そういう機会の中で、具体的な協議をさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（濱川会長） 1番目の基本目標②の「循環のまちづくり」についての「道の駅」の件については、これで置きたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱川会長） それでは、次に、2番目の基本目標④「交流のまちづくり」に係る「観光地屋島の活性化」について、担当課から御説明をお願いいたします。

○国方観光課長 はい、観光課長の国方でございます。よろしくお願いいたします。

牟礼の史跡案内のうち、休憩所や公衆トイレの整備でございますけれども、現在、駒立岩の近くの、もくもく遊らんどを民間からお借りして、観光客の皆様に観光案内所・休憩所・公衆用トイレとして利用していただいております。また、琴電八栗駅や洲崎寺、与一公園にも公衆トイレがありますので、源平屋島合戦史跡ガイドマップとか石あかりロードマップで、これらの施設を紹介しているところでございます。

今後とも、観光客等の方が利用しやすいように、本市のホームページやマップ等により、情報発信してまいりたいと存じます。

また、土産物店につきましては、ただいま、お話申しあげましたように、来年度、早期にオープン予定の道の駅むれの物産販売施設を併設いたしまして、そちらの方で庵治石を始め、新鮮な野菜や魚介類など地元特産品を販売する予定になっております。

それから、祈り岩での見学スペースの問題でございますが、正直申しまして、非常に交通量の多い県道沿いということで、家も建て込んでおりまして、民有地がございますので、十分な見学スペースが取れていないという状況でございます。非常に難しい問題でございますが、たつき、ボランティアガイドの皆さんによる史跡見学の際には、観光客の皆さんに、安全に十分注意するようお願いしておりますほか、今後、安全を呼びかける看板等を設置するなど、注意喚起してまいりたいと考えております。今後の課題ということでさせていただいたと思います。

それから、屋島山上石あかりロードと牟礼石あかりロードを、統一したらどうかというお話でございますが、お手元の資料では、屋島山上石あかりロード（仮称）という形にさせていただいております。屋島山上では、平成15年から夕景・夜景を楽しんでいただくために、屋島ゆうやけいフェスタというのを7月の中旬から9月の中旬まで実施しております。

一方、牟礼石あかりロードの方は、今年は8月5日から9月30日まで実施されるというふうに伺っております。昨年は3万人の観光客で賑わったと聞いております。実は、関係者の方とお話する中で、全く同じものを屋島の山上に置いても、どうかなという御意見が相当ございまして、牟礼石あかりロードについては、昨年を踏襲しながら、もっとたくさんの石材を提供していただいて、賑やかにやっていくということで、一方で屋

島山上につきましては、石のオブジェにライトアップをするという形で、少し変わった石材加工品を屋島山上の方は置いて、夕景・夜景を楽しんでいただくのと同時に、多少、足元が暗いので、そういう意味での、石のオブジェのライトアップといったようなことで、少しニュアンスを変えて、時期的にはほとんど重なりますが、やっていきたいというふうに考えております。お互いにイベントの魅力というものを、市のホームページやチラシ等で統一して情報発信をしてまいりたいと考えております。

次に、庵治・牟礼・屋島の観光連携でございますが、御承知のように、大河ドラマ「義経」を記念して、観光周遊バス義経号を68回走らせました。乗車率は61パーセントということで、相当好評だったようでございます。また、義経のゆかりの地を巡る義経ロードウォークを、昨年も開催いたしました。また、3地区の住民で構成する源平連を結成しまして、さぬき高松まつりへ参加していただきました。また、屋島合戦の史跡ガイドブックや紅白の旗を作成いたしまして、3地域で御活用いただいたところです。また、庵治ふれあいまつり、牟礼のおいでまい祭り、それから屋島源平納涼祭、これが約半月間の間で3回開かれますことから、そういったチラシを合同で作成いたしまして、合併前におきましても、庵治・牟礼・屋島地域が連携・協力して、多彩な事業に取り組み、観光振興に務めてきたところでございます。

新年度、平成18年度におきましては、観光客等の源平屋島地域への交通アクセスの利便性を引き続き向上させるため、昨年、好評でありました観光周遊バスを、屋島、牟礼、さらに庵治まで延長して運行したいと考えておりますほか、ただいま申しあげましたが、牟礼の石あかりロードと屋島山上の石のオブジェのライトアップのイベントの開催、それから、屋島の活性化等に取り組んできました源平屋島活性化推進協議会というのがございましたけれども、これに、今度、新たに、庵治・牟礼地域も含めた住民団体、商工会とかまちづくり協議会の皆さんに参画していただく中で、より広範囲な源平屋島地域運営協議会というのを昨日、結成いたしました。今後、多面的な取組みを進めていきたいと思っております。

さらに、新年度におきましては、義経ゆかりの全国の14自治体と与一ゆかりの全国の7自治体が、本市に一堂に会し、交流を深める合同サミットを開催してまいります。また、昨年も実施しました義経ロードウォークにつきましても、屋島・庵治・牟礼地域を廻るロードウォークを、ウォーキング協会と一緒に開催したいというふうに考えております。

そういったように、昨年以上に連携・協力した事業を展開いたしまして、3地域の観光、石材などの地場産業の活性化に取り組んでまいりたいと存じます。以上でございます。

○議長（濱川会長） ただいま説明がありました、基本目標④「交流のまちづくり」に係る「観光地屋島の活性化」につきましての、御質問、御意見等ありましたら、よろしく発言を願いたいと思います。

○議長（濱川会長） はい、村上委員さん。

○村上委員 村上です。

今のバスの件なんですけど、ちょっと不勉強で申し訳ないですが、大体、いつごろの時期に、一日に何回運行されているのかお聞きしたいと思います。

○国方観光課長 昨年の義経号は、5月3日から、当初、11月3日までの土・日・祝日ということでございましたけれども、好評につき、11月30日まで延長いたしまして、土・日・祝日、計68回運行いたしまして、時間的には1日1回ですが、10時30分にサンポート高松をスタートしまして、3時に帰って来るというコースでございました。

新年度につきましては、バス会社への運行委託ということで考えておりますが、いわゆるコンペを行いまして、各バス会社から、いろんな提案をいただく中で、より具体的な、魅力的なものにしていきたいというふうに考えておりまして、現在、バス会社からの提案、コンペ、その審査会をするべく準備を進めております。

○村上委員 料金は、おいくらなんですか。

○国方観光課長 昨年は、大人は1,200円でしたが、この度は、要は320万円の補助金を出すから、各バス会社でいろんな提案をしてくださいという中で、しておりますので、料金は、いろいろ出てこようかと思います。その中で、十分審査をしていくつもりでございます。けっして料金が安いからいいということではなく、一定の料金があっても、その方が、こられた方が楽しめるということであれば、そういった方を採用する予定もございまして、新年度の料金は、まだ、未定でございます。

○斎藤副会長 はい。

○議長（濱川会長） はい、斎藤委員さん。

○斎藤副会長 駒立岩周辺の整備事業を話されましたが、駒立岩の辺りが満ち潮になりますとね、岩自体が、もう地盤沈下しておりましてね、観光客が来たところで、見れな

い状況もあり得るということで、以前、牟礼町でもかさ上げしたんです。しかし、また、地盤沈下してきているということと、もう一つは、おちあい商店の所にある祈り岩ですね、これも本来なら、かなり大きな岩石なんです。それが、ほんのちょこっとしか見えないということでは、観光でおいでになれる皆さんが、満足してイメージが湧かないというふうなことなんで、そのあたりの検討をして、なるほどという納得ゆくような、何というんですか、観光客に見せられるようなものにしてもらいたいと思うんだが、いかがでしょうか。まあ、すぐとは言いませんが、現状がそうであるってことを認識もらいたいということです。

○国方観光課長 はい、観光課でございます。

駒立岩につきましては、私も、以前、石を持ち上げて、改めて置き直したということを知っておりますが、やはり、重要な観光資源でございますので、今、お説の件につきましては、事業課の方と検討しないといけませんけれども、検討させていただきたいというふうに考えております。

祈り岩につきましても、工事を担当する関係課とも協議しながら、検討してまいりたいと思います。

○中野委員 中野です。

屋島全体が、本当に最近、元気が無くなって、深刻な状況となっておりますが、ケーブルカーが廃止になって、皆さん、寂しい思いをしていらっしゃるんで、復活の考えは、お有りでしょうか。

○国方観光課長 ケーブルカーにつきましては、昭和4年、1929年に始まりまして、一昨年に一応廃止というか、終了になったわけですが、それまで使っておりましたケーブルカーも昭和25年製ということで、もう半世紀を過ぎたようなものでございまして、なかなか修理もままならないという状況でございます。

それから、ケーブルカーが廃止される数年間を見ても、年間利用客が5万人程度ということで、正直申しあげまして、これではなかなか経営はできないだろうというふうに考えております。ケーブルカーそのものの復活につきましては、かなり、私どもとしては、非常に困難でないかなあというふうに考えております。

○蔭久委員 蔭久です。

物産店云々ということで、箱物の建設が、あるのか無いのかという質問と、あるのであれば、予算が予算ですので、そんなに大したものはいないんでしょうが、そんなに

お金を掛けなくても、どうせやるのであれば、デザインの優れたというか、何かあんまりいい加減なものを取って付けたように、やってほしくないの、何かその辺少しお考えがお有りであれば、お聞かせ願えればと思います。

○国方観光課長 観光課、国方です。

物産につきましては、先ほど申しあげましたのは、いわゆる道の駅むれの公園の一部に物販施設を建設するということでございまして、平成19年度の比較的早い時期に開設したいと考えております。

内容等につきましては、先ほど申しあげましたように、地元の物産、いろんなものを販売していきたいと考えておりますが、おっしゃるように、コスト的には、いろいろ検討して、1平米当たりの建設コストといいますか、そういったものについては、できるだけ無駄の無いように、検討していきたいと考えております。

○山田委員 山田です。

交流ということで、お伺いしたんですが、現実には、石の民俗資料館が、非常に、土曜日、日曜日になったら、お子様連れで、まず500人から1,000人ぐらいは来ておられるんじゃないかなと思います。ピクニック的な感じでお弁当を作ってきて、芝生のところで食事しておられる。非常に和やかな交流ができておるんじゃないかなというふうに思います。

そういう意味と、また、もう一つ、石の民俗資料館友の会の方では、年に5回ぐらい、コンサートを開いております。ここに来られておる方も、だんだん、出席といいますか、参加されておられますが、夜コンサートをして、いろいろな形で、大体150人から多かったですら200人弱ぐらいはエントランスホールに入るんです。そういうことも、高松市の皆さんにも、もっとPRしてもらおうというか、知ってもらい、せっかく開くんだから、一人でも多くの人に来ていただけたら有り難いというふうに思いますので、その点よろしくお願いします。

それと、石の民俗資料館の場合、駐車料金がタダでございますので、特に古高松、屋島辺りの方も、喜んで来ておられるということも、ちょっと付け加えておきます。

○国方観光課長 石の民俗資料館につきましては、教育委員会文化部の方で所管しておりますので、お説の件につきましては、帰って申し伝えたいというふうに考えております。

なお、交流という点につきますと、先ほど、申しあげなかったんですが、庵治、牟礼

の夏祭りも当然ですけれども、8月12・13・14日の高松まつり、それから、香南町のボンフェスティバル、国分寺町の夏まつり、あるいは、塩江の温泉まつり、そういった各夏祭りが、1か月の間に6箇所では花火大会も含めて開催されますので、今年は、そういったものをトータルにお知らせするようなチラシとかホームページも作成していきたいと考えております。

○山田委員 答えに対して縦割りだけでなく、横のつながりというか、横の幅の広い行政でも対応できるんじゃないかなろうかというふうに思われますので、その辺をひとつ、今後とも、よろしくお願いいたしますと思います。

要は、私が言いたいのは、一人でも多くの方に来てもらえるようなPRというか、それが大事なんではなかろうかということでございますので、そのあたりもよろしくお願いいたします。

○国方観光課長 観光課、国方です。

私どもの方で、できるだけいろんな地域を巻き込んだホームページを作成して、周知させていただこうと思っています。

観光課のホームページというのは、一月に1万2千件のアクセスがございます。年間15万件的アクセスがございまして、ヒット件数でいきますと、年間150万件的のヒットがございます。高松市のホームページの中では、最もアクセス数の多いところでございますので、これを十分活用させていただいて、他の所管の部署につきましても連携しながらPRさせていただきたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

○議長（濱川会長） 「観光地屋島の活性化」についての質問は、これで終わります。

次に、3番目の基本目標④「交流のまちづくり」に係る「市道の整備」のうち「屋島線の整備計画」についての説明を求めます。

○稲垣土木部次長 道路課、稲垣です。よろしくお願いいたします。

屋島線の整備計画でございますけれども、この路線は、牟礼地区との地域間交流を促進する上からも重要な路線と存じております。

一つの路線といたしまして、牟礼地区側には、県道高松牟礼線に至る市道屋島線がございます。また、屋島地区側の県道屋島停車場屋島公園線に至る市道高橋線の拡幅整備が必要となるわけでございます。

この路線の中には、高橋の架け替えも含まれておりまして、その橋本体の工事費に加

えまして、用地費、それから建物移転補償費に多額の事業費を要することが予想されます。

このために、国庫補助制度の活用など、国・県に対して財政的な支援を、今後、要望してまいりたいというふうに考えております。

また、屋島線の整備に伴いまして、屋島地区での通行量の増大が予想されることから、屋島地区での交通の円滑化を確保する対策の検討も必要でございます。

このようなことから、事業化を図るためには、今後、事業実施に向け、これらの諸課題への取組みを行ってまいりたいというふうに考えております。以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（濱川会長） 屋島線の説明が終わりましたが、御質問、御意見等をよろしくお願いいたします。

○斎藤副会長 はい。

○議長（濱川会長） はい、斎藤委員さん。

○斎藤副会長 今、御説明いただきましたが、高橋の拡幅のことなんですが、20年、30年前から考えられておるわけですけども、牟礼側の方は、5メートルあるいは、部分的には6メートル整備してあります。

一方、高松側、橋の向こうですよ、この辺りが難所になって、車が一台通行するために、こっちも手前で待ってなきゃならん。で、高松東部地区の住民ですね、団地がたくさんありますが、この人たちも買い物に行きます。お年寄りも来ますしね、お遍路さんも来ます。車が通るために自転車も通れないと、危険な所ですよ。

で、再三、前町議会議員たちがですね、考えてやってきたんですが進展せんと、今回、本来でしたら、庵治町もですね、一緒に考える橋なんです。王墓経由、屋島病院の近辺まで行こうとするなら、信号が約10箇所あります。高橋経由しますと、信号は全然無いわけですよ。ですから、朝晩のラッシュはものすごい、危険でもある。ということで、再三、この件につきまして話しました。

まあ、余談になりますが、端的に申しあげますと、北部ルートだとか、あるいは高松牟礼線、三木牟礼線、この県事業の建設計画にも載ってるんですが、これらと絡めようというような意向があるならば、進展せんだろうということです。大きなこと考えないで、まずね、あそこを直して有料道路にぶつけるような工事をするならば、経費的にもね、かなり助かるでしょ。

ですから、できる所から着工するということの決意を、ひとつ固めてもらいたいと。長年の課題でもありますし、合併の協議会で、北部ルートあたりも要望されていますけれども、庵治・牟礼でも期成同盟もね、作ってやってきた経緯もあります。

そういうことで、この本件こそは、本当に重要な課題であるということなんでね、これが10年間の計画ですけれども、初年度に、すぐ出るかどうか難しいでしょうけど、まあ、これからもね、取組みについては、注目しておりますし、審議会の課題の一つであるということを自覚していただきたいと思うんで、もう一度、その御返答をお願いします。

○稲垣土木部次長 道路課、稲垣です。

これまで、相引川の、ちょうど、センターというか、中間あたりが行政境となっておったということで、橋も市と旧牟礼町と両方がスクラム組んで、工事を対応せないかんということで、いろいろ連携プレイを取るのに時間的なものもかかったことだと思いますし、今後、その橋の、御存知だと思いますけれど、西側手、県道に至る所に住民等の生活の拠点であります住居がございますので、その方たちの御理解というのがございます。

ところが、今度、合併いたしましたので、高松市の方で、牟礼町側の方の地区と合わせて、今後、諸課題等ありますけれども、一応この合併後ということの建設計画に載ってございますし、取組みについては、河川管理者との協議も必要になろうかと思っておりますので、一つからでも取り組んでまいりたいというふうには考えております。

○斎藤副会長 そういうわけですね、非常に関心も高いし、牟礼町、庵治町、あるいは東部圏域の開発に無くてはならん場所でございますのでね、早急に、市長さんもおられますが、是非、このことにつきまして、取り組んで欲しいということを要望しておきます。以上です。ありがとうございました。

○村上委員 ちょっとお伺いしますが、宮ノ前川原線道路改良とか中代2号線道路改良、下に市道の舗装事業で、道路打換舗装と書いてあるんですけれども、申し訳ないですが、宮ノ前川原線のどの辺なのか、それから中代2号線道路改良はどの辺か、打換舗装1,200メートルが、どの辺なのかですね、簡単でいいですので、周辺の、ここからここまでというようなものを添付していただきたいのですが。私ら場所的なものがですね、ピンとこないんですよ。それが、100メートルが適当なのか、110メートルで終わるものなのか、その部分だけ重点的にやるのか、その辺もちょっと添付しといていただ

いたら、この１００メートルで後のその両側の１１０メートルの所は、もういいのかどうかという、その辺も、一緒にお聞かせ願えたらと思います。

○稲垣土木部次長 後日、支所を通じまして、図面を作りまして、配布したいと思います。

宮ノ前川原線と中代２号線につきましては、町の時代に取り組んでおる引継予算ということで、１８年度に取り組んでいるんですけども、宮ノ前川原線は、牟礼小学校の北側手、ちょうど国道にあたる南側手のところの市道でございます。

それから、中代２号線は、牟礼小学校の少し西側手のところの南北の市道でございます。後日、図面等を支所の方へ渡します。

○井田委員 井田と申します。

道路課へお尋ねしたいんですが、従来、牟礼町の方では農道整備に絡みまして、行政が７０パーセント、それから地元負担金が３０パーセントということでやっておりました。それから、農道から外れて、もう少し狭い三尺道といいましょうか、約１メートル程度の道につきましては、１平米１，２００円という補助金をくれていました。それで、地元の人たちの協力で狭い道は、１平米１，２００円でやっておりましたが、今後、狭い道路の農道整備補助金、１平米１，２００円というものが、どういう数字になるか教えていただきたいと思います。

○稲垣土木部次長 確認したいんですが、農道とは、道路管理者がおられる農道のことをおっしゃっておられるのか、道路管理者のいない道路というのか。私ども道路課の方は、道路法という市道認定されておる道路の管理をしているんですが、農道と言いますと、当然、土地改良区等が機能管理しており、今、お尋ねの件は、どの道を指しておられるのでしょうか。

○井田委員 従来は、４メートル以上の道が町道という認定をされておりました。４メートル未満の道路につきましては、行政の方では農道という扱いでございました。実際に町道に近い道路ではございますが、町道と認定されん場合は、農道というような名前で、その場合には補助金という対象でございました。

○稲垣土木部次長 文書で回答する中の２５番に、御質問された内容が入っておりますが、このことをお伺いされているのでしょうか。

○井田委員 分かりました。ありがとうございました。

○議長（濱川会長） お話の途中でございますが、市長が公務のため退席をいたします

ので、御了承をお願いいたします。

他に屋島線について、何か御質問等ございませんか。道路行政について何かありましたら、また、よろしくをお願いいたしたいと思います。

○斎藤副会長 それじゃあ、もう一度質問。

ここに続きまして、これから庵治町へ行かれますわな。庵治町の方も地域審議会を立ち上げておられますし、今の件につきましてね、庵治町もやはり考えておられるというはずなんです。いずれにしても、タイアップしていこうじゃないかというような話も横につながながらやるのと、もう一つは、今、新しくね、就任された市議会議員の方々に対してもですね、この件につきましては、本当に腰を入れて、合併すればこそね、実現しなきゃならん問題ということで、取り組もうと思っていますので、よろしく。

○村上委員 すみません。前回の前打合せの時に、お話ししたんですけど、牟礼町は、高松市に比べて下水道が非常に普及しておりまして、90何パーセントですけれども、その関係で、道路を非常に掘り起こして埋めたとかがあり、今まであった道路との段差が非常に、だいぶん時間経っていますので、ガタガタきてるわけです。そういった所は、下水が通る大きな道路が多いんですけども、その掘った所と今まであった所が、だいぶん段差ができてガタガタきていますので、これだけの道路舗装だけでなく、そういった所も早急に予算化して、一体になるようにですね、掘ったところと掘ってないところが、もう段差が無いように一体化したような道路に早くしていただきたいなあと、このように思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（濱川会長） 3番目の「屋島線の整備計画」についての御質問は、これで終わりたいと思います。

続きまして、4番目の基本目標⑤「参加のまちづくり」に係る「自治会組織の充実とコミュニティづくり」について、担当課から説明をお願いいたしたいと思います。

○田中環境部次長 環境業務課の田中でございます。

一番最初の一斉清掃のことについて、お答え申しあげたいと思います。地域の皆さんが、自分たちの地域を自分たちの手で環境を良くしようという取組みでございまして、市の方といたしましても積極的に、これを支援したいというのが、高松市の考えでございます。

ゴミについては、問題なくできると思うんですけども、皆さんが懸念されておしま

すのは、何か泥がですね、水路の泥とか、それから溝の泥なんかが、他に比べて、かなりたくさん出るようでございます。

これにつきましては、実は、この会が始まる前に担当課長を集めまして協議したんですけれども、そういった泥についても市の方の負担で処理するということになっておりますので、一斉清掃に合わせて、そういった泥を出すような、いでざらえというんですか、そういった形のものもやっていただいて結構だと思います。

ただ、やり方を一部変更しないとイケないかなというのもございます。ゴミについては、市の、御存知のようにパッカー車と申しまして、ゴミ収集車なんですけれども、この車は、泥は積み込められないので、パッカー車で運ぶのはゴミだけということで、ゴミと泥とを分けていただかなくてはならないということです。

そういうことで、一部、今までのやり方と、少し変わるところがあるかも知れませんが、基本的には、市の方で全面的に支援するというようなスタンスでありますので、やる際には担当課の方と協議を十分にさせていただいて、連携を取りながらやるという方向でお願いしたいなあというように思っております。以上です。

○議長（濱川会長） ただいま説明が終わりましたが、皆様方の方で、この件につきまして、御質問、御意見お願いいたします。

はい、井田委員さん。

○井田委員 お尋ねしますが、汚泥の問題ですけれど、今までは町の方で汚泥の処分地を用意してくれておりました。ただ、地元住民との調整がつかないために、本年度からは、汚泥は捨てたらいけないということを伺っております。その処分地といいますのが、ちょうど私の住んでいる地域が、山から下りる一番下の最終の場所でございます。従来、大体10台ほど小型ダンプを用意いたしまして、その内の過半数は汚泥の処分に当たっております。そういうことで、汚泥を処分してくれなければですね、放る所が無い、そのままでしたら、恐らく、また、宮北川の辺りに、かなり溜まるんでなかろうかと思われま。

それが1点と、もう1点はですね、町行政の時は、一人当たり100円の負担をしてくれておりました。それが大体、私どもが、世帯に入ってます840人ほどおりますので、8万4千円というお金を頂戴しておりました。ところが、実際に自治会の方ではですね、参加者が約365名、小学校・中学校・父兄合わせましてね、その人のパン・飲み物、それからダンプが10台ありますから4千円ですね、4万円、それ足しますと、

約10万くらいのお金は使っております。だから、頂いたお金の上プラスアルファ、自治会の負担金でやっとなりますが、その辺のところは、今後、どのような方向になりますでしょうか。

○田中環境部次長 1番目の汚泥の処分地の話ですけれども、お聞きしますと、何か、斎場の近くの谷間に放り込んでいるという話を伺っております。

このことについては、私どもから見て、それは適当でないと、そこへ捨てるのは、しないほうがいい、止めてほしいという考えでございます。ですから、それにつきまして、また違った場所とか、担当課の方で考えたいと思います。

いずれにしても、今まで放ってた場所に放るというのは適当でないということで考えております。これは、汚泥を担当している課の者も、そのように申しておりますし、廃棄物指導課というのがあるんですけれども、そこでも適当でないだろうということ言っておりますので、これは改めたいなあ。場合によっては、業者の方の埋立地に入れるとか、そういったことも考えんといかんのじゃないかなあというふうに思っております。それらの処分の費用については、市の方で考えるということでございます。

それから、いろんな住民の方が出ていただいて、ジュースを出したりとかいうふうな経費がかかるということでございますけれども、衛生組合、まだ立ち上げてないんですかね、これから多分、衛生組合が立ち上がると思うんですけれども、そこへ市の方から、一斉清掃とか河川清掃の補助金がいくらか付きます。そういったお金を利用するとかいうふうなことで対応してもらいたいなあというように思っております。

どういう具合にするかというのは、また、衛生組合の方で決めていただくと、市の方が、どうだこうだと、これに使いなさい、どうしなさいということは言いませんので、皆さん方で考えていただいて有効に使っていただくというふうなことでお願いしたいなというように思っております。

○井上（孝）委員 はい。

○議長（濱川会長） 井上委員。

○井上孝志委員 この件につきましては、大体、今、課長さんが言われよるように、従来どおりということで、住民は納得しとる、今はもう、どなんなるかいうんでね、自治会内でも、いろいろに言よるわけなんで、そういう話をです、できるだけ、自治会連合会か、そういう所に早く下ろしてもろてです、やっぱり、町民が、合併することによって、マイナス思考でなしに、して良かったなあというふうなことで、前向きに判断

していただくし、早く、それをしていただければ、みんな有り難いと、私方も、自治会の方の世話しよんですけど、今、その問題がどうなるだろうかというようなことで、非常に心配しとるわけなんでね、パッカーで置くとなったら、ある程度、分散したような形で置かないかんという場合に、そのパッカーで処理する場合の、それが、朝出したら、晩に仕舞いつくのか、朝出したら、あくる日とか、一日置くことによって水分が落ちますから、運搬業者は、その方がしやすいと思いますけれど、場所にもよりますし、交通事故等も問題がありますんでね、できるだけ、計画を早く出していただいて、自治会長あたりに、もう早急にしていただいて、やっぱり、みんなが不安がらんような形で、従来どおり、明るい清潔な牟礼地域を進めていきたいと思いますんで、その点、できるだけ早く、連絡していただければ有り難いと思います。よろしくお願いします。

○田中環境部次長 自治会とか衛生組合を補助するような、担当を付けているようでございますので、その方にも間に入っていていただいて、そういった計画を早めに作っていくというふうなことで、いたしたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（濱川会長） 他にありませんか。

○川浪委員 はい。

○議長（濱川会長） はい。

○川浪委員 川浪と申します。

先ほど説明がありました衛生組合なんですけども、どういう単位で構成される、したらいいのかなあ思いまして、たとえば自治会とか、牟礼町で衛生組合を全体で作るとかいう形。

○田中環境部次長 はい、衛生組合については、今、環境保全課というところが事務局になって、その立ち上げに、恐らくいろんなアドバイスをしていると思うんです。

○川浪委員 どこですか。

○田中環境部次長 環境保全課、はい。かなり、そこら辺の議論は、かなり進んでいるんじゃないかと思うんですけれども。

○川浪委員 初めて聞きます。

○田中環境部次長 ああそうですか。ですから、そのあたりは、どういう形ですかとかいうのは、こちらの方で、住民の方で、こういうのを作るんだというような形ですね。

ですから、高松市内のひな型はありますけれども、どういったものを作るかと、例えば、自治会の役員と全く一緒にするとか、役員は変えるとか、いろんなやり方があるん

ですけれども、そういったあたりは、それぞれの地域で、地域に合ったようなやり方を
するということです。

市役所が、こうせ、ああせとかいう話ではないので、地元でそういうのを、組織を作
って。

○川浪委員 はい、参考までに、旧高松では、どのぐらいの単位で衛生組合を持たれて
いますか。

○田中環境部次長 大体ですね、ラフな言い方ですけども、自治会と衛生組合は、ほぼ、
一緒のメンバーで、頭の役員さんが違うというようなイメージです。役員さんも、全く
自治会の役員さんがそのままなっている場合もあるし、全く違う人が役員さんになって
いる場合もあります。

○井田委員 ちょっと、衛生組合のお話が出ましたんで、たまたま、自治会連合会の理
事も兼務しておりますので、現在、衛生組合というものは、ほぼ、出来上がっておりま
す。

それで高松市の、衛生組合の方がお見えになりまして、当初、自治会連合会の方は御
意見がありまして、3校区でというような、お話もございました。ございましたが、高
松市の衛生組合は1連合会でしてくれということで、皆さんの御意見もありましたが、
1連合会で1衛生組合として、会則も全部出来上がって、近々、連合自治会の総会が4
月9日にございますので、多分、その席上で発表になるかと思いますが、組織的には1
衛生組合いうふうな方向付けでございます。補足でございまして、どうも失礼しました。

○田中環境部次長 牟礼町で一つの衛生組合ができるということですね。地区によっ
ては、大きな所であれば、3つに分かれるとかいうことですが、この場合は、今、
お話では牟礼町地区で一つの衛生組合協議会ができるということですね。

○井田委員 4月9日の総会の時に、正式に連合自治会長の方から発表いたします。

○議長（濱川会長） 他にございませんか。特に無いようですので協議事項につきまし
ては、終わります。

○事務局（原田課長） 失礼します。ちょっと、会長さん、よろしいでしょうか。

今、第4の項目の1点目の御説明が担当課からございまして、あと3つほど残ってお
りますので、引き続き担当課の御説明をいただきたいと思いますと思っております。

○久利市民生活課長 市民部市民生活課の久利と申します。よろしくお願いします。

牟礼町地域におけるコミュニティづくりについてでございます。この組織につきまし

ては、地区校区の連合自治会を始めとしまして、地域内の各種団体が構成される、いわゆる地域のネットワーク型の組織として、現在、組織化、設立が進んでおります。

概ね小学校区を単位とする連合自治会の区域におきまして、組織化されておきまして、中には旧高松市域内の屋島、古高松、木太地区といった所では、2つないしは3つの小学校区を持つ地域もございますが、地域住民のあらかたの合意、コンセンサスの下に、一つの地域コミュニティ組織として設立されております。

牟礼町地域には複数の小学校区がございまして、町内の自治会は、一つの自治会連合会ということで集約されているというふうにお伺いしております、この地域コミュニティの範囲については、種々御意見が出てこようかと存じますが、地域コミュニティの活動は多種多様ではございますが、この組織は、どちらかといえば、課題解決型の組織としての性格がございます。

今後、地域コミュニティの組織を立ち上げるということで、地域の力を一つにしまして、組織としての力を発揮するというような観点から、地域内での協力体制、地域としての一体性といったことにつきましても、折をいただきまして、地域の総意として、一つの形にまとまっていただくというのが、現状の中では望ましいのではないかなあというふうにご考えておるところでございます。よろしくお願いします。

○議長（濱川会長） はい。

○井田委員 井田と申します。

地域コミュニティのお話が出ておりますが、実際のところですね、ちょうど私は、今、牟礼地区の社会福祉協議会の設立をしております、ほぼ、会則等も出来まして、4月5日の日に設立総会を開く段取りまでは行っております。

ただ、非常に問題点はですね、事務的なものをですね、機能的に、ほとんどボランティアでやっておりますね、こういう大きい地域コミュニティ組織というものの形になりますと、人がある程度、貼り付いてもらえるものか、予算的にですね、どうなりますものか、その辺が非常に今後の地区社会福祉協議会を立ち上げた後の組織づくり、運営等につきまして、教えていただいたら有り難いと思います。以上です。

○事務局（原田課長） 会長、すいません。今の井田委員さんの御発言は、地域コミュニティに関する3番目の回答部分を含んでいると思いますので、地域コミュニティに関する3番も4番も、引き続き担当課の方から説明してもらいまして、その後の御質問を受けてはいかがでしょうか。

○議長（濱川会長） 事務局から、そういう提案がございましたので、それでお願いしてもかまいませんか。

〔「はい、どうぞ」の声あり〕

○議長（濱川会長） そしたら、よろしくお願いします。

○多田健康福祉総務課長補佐 健康福祉総務課の課長補佐の多田と申します。

地区社会福祉協議会への助成制度があるかどうかということでございますが、社会福祉協議会を所管しております健康福祉総務課からお答えいたします。

現在、市から地区社会福祉協議会に対する直接の助成制度はございませんが、市としても、今後、地域福祉を推進していく上で、民生委員さんとともに第一線で、その担い手となる地区社協の役割は大変重要と考えておりますことから、母体となる高松市社会福祉協議会を通じた助成・援助に努めておるところでございます。

旧高松市内の地区社協へは、従来から高松市社会福祉協議会が地域福祉活動促進事業を実施するなど、各地区社協に対する活動費の助成を行っておりまして、合併町の地区社協に対しましても、設立後は同様の助成を行うことはもちろん、設立時には、設立費用等の助成も行うことになっておりますので、御理解いただきたいと存じます。以上です。

○久利市民生活課長 続きまして市民生活課でございます。

地域での情報交流の件でございますが、これは資料 H 17-1-⑤の上から 5 枚目、回答欄の上から 2 段目に記載がございますが、5 ページの No.19 のですね、情報交流・CATV 整備計画という中の、回答欄真ん中の段でございますが、これを御覧いただければと思っておりますが、基本的には、このインターネット上に高松市の、いわゆる e ネット高松というものを設けまして、市民電子会議室ということで、これを使って様々な情報の交換や相互交流というものを図ることができるようになっておりますので、これをひとつ活用いただきたいということが 1 点ございます。

もう 1 点は、地域情報の提供ということがあろうかと存じます。これにつきましては、高松市のホームページの中に支所・出張所のコーナーがございます。ここに、各種の情報を、ある程度、ホームページ上の画面に掲載が可能というふうになっております。

しかしながら、情報を、常に更新して最新の情報を流すということのためには、維持管理が課題となります。この管理に当たっては、基本的には、支所での対応ということも考慮する必要がございますが、これについては、多少、検討の時間をいただきたいと

いうふうに考えております。よろしくお願いいたします。

○井田委員 先ほどの地区社協が立ち上がった後ですね、次の段階には、地域コミュニティ組織という段階に進むんであらうと思うんですが、ただ、高松市の方は、もう既に立ち上がっていらっしゃるという地域がございますでしょうか。

○久利市民生活課長 組織としては、既に、35の地区校区がございまして、連合自治会を中心に設立しておりますので、基本的には終わっております。

今後は、地域の活動に、具体的に、実践として、取り組んでいただくという方向で、いろいろその支援を行政としてもやっておるところでございます。

先ほど、お尋ねがございました、人が貼り付いて、予算についてはどうするのかといった面での配慮というお話がお有りかと思いますが、これらにつきましては、設立に至るまで、いろいろ御相談もいただく中で、設立当初は約2年間程度になりますが、構築支援ということで補助金を持っております。

それから、その期間内に、このまちづくりのプランを、地域の皆さんで取り組む、いわゆるまちづくりの指針ですね、このプランを作っていただいて、実践するというところで、2年間経過後の、その3年間ですね、つまり5年間になりますが、トータルとして、毎年20万ずつ助成をするというふうな形を採っております。

したがって、この期間内に、ある程度、組織としての体制づくり、実践的な活動に、地域で一体となって取り組んでいただければというふうに思っております。

もう一面では、人的な支援ということでございますが、高松市では、いわゆる旧高松市域内では、地区公民館を本年4月1日からコミュニティセンター化するというところで、地域での管理運営をお願いする方向で進めておりまして、基本的には自主管理・自主運営ということで管理に必要、運営に必要な経費を行政の方で委託料としてお出しして、管理運営に当たっていただくと、そのための、いわゆる人的なものにつきましては、従来、公民館として館長さん、主事さんというのがおられましたが、この者につきましては、地域で人材を雇用していただいて、その方たちが、そのコミュニティセンターの管理と併せてコミュニティの活動の事務局的な役割も持っていていただいて、地域として、取り組んでいただこうと、こういうふうな方向で、現在、進めております。

したがって、こういうものを参考にしていただいて、お尋ねにありました、牟礼町地域でのコミュニティづくりを御検討いただければというふうに思っております。

○井田委員 ありがとうございます。

○新谷委員 はい。

○議長（濱川会長） どうぞ。

○新谷委員 新谷ですが。

高松市の方で、旧高松市の方で、もう4月から、その地域コミュニティが動くっていうのは、新聞とかいろんな情報の中で存じてはおりますが、ただ、その中身がどういうふうな事業スキームで、また、組織で、動こうとしてるかというのは、我々、牟礼地域の人にはよく理解ができない部分があるのだろうと思います。

今後、牟礼地域でもそういうふうな地域コミュニティの立ち上げにというふうなお考えだろうと思うんですが、先ほど言ったように、校区ごとになるのか、さっきの、衛生組合のように、牟礼の場合は、一つのコミュニティという考え方も出てくるかも知れませんが、そういうのもですね、すでに4月からスタートなんで、いろいろ検証もしながら改良も加えていくという余地はあるんだろうと思うんですが、もう少し分かりやすく、地域コミュニティの考え方というか、お示しいただかないとですね、皆さんには、よく理解できてない部分が、やっぱりあるんだろうと思うんですね。

聞くとところによると、市からいろんな補助金が出てた、いろんな各種団体が、地域コミュニティ一括化して、一つになって、そこに補助金がおいて、そこからお金としては流れていくと、あとは公民館の活動もそこをお願いをして、文化活動みたいなものも職員を配置してやっていくというふうな、総合的な地域活動のように聞こえてはきていますけれども、問題もいっぱいあるみたいなことも聞いておりますので、是非、もう少しかみ砕いた御説明が欲しいと思います。

それから、もう1点ですけど、地域コミュニティの中での、その情報交流なんですけれど、今、御説明があったようにですね、ITの時代ですので、インターネットとかですね、そういうのを駆使してやっていくことは当然だろうと思います。

ただ、現状をですね、各家庭でそういったインフラを、まだ整備できている整備率が非常に少ないわけですね、そういう中で、旧町の町民の中では、例えば牟礼地域では、先ほどお話がありましたけれど、石の民俗資料館とかですね、中央公民館とか、いろんな施設の中でいろんな事業を展開してきたことを各町民にお示ししてきたわけですね。これは牟礼町だけでなく、庵治も国分寺もすべて同じだろうと思うんです。そういう情報量が極端に減ってしまった、ということは、やっぱり、町民にとっては、非常に不利益を感じている部分があるんだろうと思います。

ただ、インターネットで広域的な情報を集めるということ、また、それをアップしていくということは当然せないかんけれども、コアな地域情報というのはですね、やはり、広報紙とは別に、毎月1回ぐらいは、そういった地域情報のぺらの紙資料でもですね、広報紙に挟んで、それぞれの地域の地域情報として出す必要があるんじゃないかなあと思っております。そういうのも御検討いただけたらと思います。

○久利市民生活課長 いろいろ御指摘のあったとおり、コミュニティを進める場合には課題もございまして、これらについては、ひとつまあ、牟礼町は牟礼町としての、この地域としての、中で検証いただけたらと思います。

で、必要な情報なり、説明なりにつきましては、私ども、出前講座というふうな形で出向いて行っておりますので、機会がございましたら、是非、お声をかけていただければと思っております。

あと、コアな地域の情報ということにつきましては、これはやはり何ととっても紙ベースでの情報の伝達というのが中心になろうかと思いますが、これらも、コミュニティ活動が進んでいる所では情報紙として出して、その中に、いわゆる地域に身近な情報を提供すると、したがって、そういう意味で、支所でミニコミ紙的なものを印刷する場合のお手伝いは、これは可能でございますので、ひとつ編集委員会のようなものを地域の中で御検討いただいて、そういう広報的な部分についても取り組んでいただければ、本当に有り難いなというふうに思っております。以上です。

○議長（濱川会長） まだ、たくさんの御質問、御意見等があらうかと思いますが、非常に限られた時間の中の審議でございますので、予定の時間も近づいてまいっております。一応、本日の協議事項につきましては、これで終わりたいと思います。

本日、御協議いただいた内容等をよく踏まえまして、平成18年度・19年度の合併基本計画および実施計画についての意見を整理しまして、まとめてまいりたいと思いますが、実施計画や新総合計画について本審議会としての意見を反映させる必要がありますので、審議委員の皆様には、よろしくお願いを申したいと思います。

なお、幸いに審議委員の皆様方は、各団体あるいは各地域から選出されておりますので、特に各団体、各地域の町民の皆さんの御意見を十分お聞きになられまして、次からの審議会の意見、質問に反映をさしていただきたいと思います。

また、審議会といたしましても、今後、自主的に調査検討を行う意見交換会なども開催いたしたいと思っておりますので、委員の皆様方よろしくお願いをいたします。

以上で、本日に予定しておりました議事は終了をいたしました。

会議次第 6 その他

○議長（濱川会長） 6の「その他」の件でございますが、何かございましたら事務局の方から、よろしくお願いをいたします。

○事務局（原田課長） はい、それでは、今後の予定も含めまして事務局の方より申し上げます。

次回、平成18年度第1回会議の開催日程でございますが、4月から5月にかけて開催予定でございます。具体的に日程が決まり次第、委員の皆様にお知らせする予定でございます。

また、濱川会長からのお話にもありましたように、委員による自主的な意見交換会を開催する場合は、正・副会長とも協議のうえ、御案内させていただくと思いますので、その節は、よろしくお願いいたします。

あわせて、資料のH17-1-⑥としてお配りしているものに、牟礼支所の組織概要と担当者一覧がございます。日常の活動等に参考にしていただければと存じます。

以上です。

○議長（濱川会長） 以上、その他ということで、事務局から説明がありましたが、せっかくの機会でございますので、何かございましたら御発言をお願いしたいと思います。

○井上（孝）委員 はい。

○議長（濱川会長） はい、井上委員さん。

○井上（孝）委員 井上です。

教えていただいていたかったのが、資料H17-1-③ということで、牟礼地区実施計画の事業費ということで、4億6,624万円という数字が出て、多分、市議会の議決をいただいとるということで、ここへ数字が出とんでないかと思うんで、それで、特に、村上さんと言われておりましたように、私も、ちょっと気になったんですが、市道の整備ということで、6,060万円という数字が入とるわけですが、この中に、先ほど言われました、中代2号線とか、宮ノ前川原線の改良とか、市道のオーバーレイとかいう数字を包含したものが、ここに入とるように私は解釈しとったんですが、前段

です、もう今日は、ちょっと時間がございませんので、今、原田課長の方から、4月から5月にやりたいということです、それでかまいませんので、そのあたりの流れをちょっと発表していただければ、だんだんの疑問点が解けたんじゃないかなあと、ここへ数字を、丸々、ポーンと出しとんで、分かる人は、分かるかもわからんのやけど、大部分の人は分かりにくいと思いますので、今後、そういう形を踏まえて、やっていただければ、これが議会前であれば、私もこうは言いませんが、議決された数字が、2年で8億2,830万円ということで、当初の計画の中へ出ております牟礼地区の事業を18年・19年で網羅しておるということでございますので、すべてを、あれはしませんけれども、2,000万円とか3,000万円以上のオーダーの数字については、高松としては、こう考えとりますよと、これは17年度の合併時の交渉事の時点を出とる数字かと思います。まあ、これがすべてではないと思いますし、我々が申しあげるとも、ここへ入っとるんもあるだろうし、本課から直接、補助されるもんもあろうかと思ひますんで、その点、次に分かる範囲内で発表していただければ、有り難いなあというように思うとります。

それと、会長さんをお願いするんですが、今も原田課長の方から言ったわけで、有り難いんですが、やはり、ややもすると言いつばなし、聞きつばなしという話にもなると思いますので、会長さんの御都合、皆さんの御都合もありますけれども、できるだけ次は、立場の人だけ来ていただいて、的を絞った議論をしてですね、細かく19年度の予算に反映するような会を持っていただければ、私、有り難いなというように思ひますので、その点、ひとつよろしくお願ひしたらと思ひます。

以上です。前段の分だけ、どなたからでもかまいませんので、それをよろしくお願ひしたらと思ひます。

○稲垣土木部次長 はい、道路課の稲垣です。

④の「交流のまちづくり」の上から2段目のところに、平成18年予算額ということで、6,060万円という数字が挙がっておりますが、今日、細かい資料を持ってないんだけど、考え方だけ御説明申しあげますが、ひとつには道路改良事業といいまして、先ほど、委員さんの方からお話がございましたように、牟礼小学校の前の宮ノ前川原線の工事、それから中代2号線の工事、それから舗装につきましては、道路の打換舗装やオーバーレイ、それから交通安全施設の整備事業ということで、防護柵の整備費、それから交差点のところで視界が悪いということで道路反射鏡の整備などを、一応、計上し

て、その合計の数字がここに記載されている額ということでございますので、御理解よろしくをお願いします。

○井上（孝）委員 前段で会が始まる前にでも、ちょっと、粗々と、18・19年度の予算の牟礼地区がこうなりますよという話をしていただければね、今いう話は、後でもかまいませんけれども、皆さん、予算内に入っというということで、納得したんでないかなあという話を申しあげたんで、細かい話は、入札などいろいろございますので、言う必要はございませんけど、考え方だけをね、牟礼町から言われとるもんは入っとなりますよ、皆さん心配せんでええですよと言うてくれたら、ああそうですかというような話に、まあ、ざっくばらんに言わしてもろうたらね、そういうことです。

○稲垣土木部次長 ですから、冒頭に申しあげましたように、18年度予算は、旧牟礼町側で予算編成されたのを引き継いで、18年度に反映ということで、当初申しあげたとおりでございますので、よろしくお願いいたしますと思います。

○村上委員 はい。

○議長（濱川会長） 村上委員さん。

○村上委員 第1回の審議会が終わったわけですけども、町民の方がですね、今までは、町だったもんですから、町会議員さんがおられて、議会とかいろいろやられてて、内容については、広報といっしょに牟礼町議会だよりですか、こういったことで、どういふのを今月の議会ではしましたよとかいふのがあったから、町民の方は、いろいろ分かったわけですね。

で、今度、地域審議会ができたということは、皆、町民の方は知ってるんですけども、今日やったような内容をですね、どんなことを地域審議会でしょんかというようなことで、非常に興味を持っておられる方が多いんですよ、で、今日、第1回をやった内容等について、情報公開でないんですが、町民の方に、どういった形で、こういう項目を審議しましたよというような周知がですね、その辺をちょっとお伺いしたいなあと思うんですが、どのようにお考えでしょうか。

○久利市民生活課長 市民生活課でございます。

地域審議会については、基本的には議事録を作成します。当然、これは公開されますので、支所の方で紙ベースで御覧いただけるようになると思います。

それから、今回、5つの地域審議会を連続してやりました関係で、ある程度、要約的な形で伺った御意見等をですね、整理した形でホームページ上に載せる、あるいは市報

の中で御報告をすると、こういった形を、今、考えておりまして、まず、いわゆる議事録を起こすのに、1月近くかかりますので、この点だけは御了解をいただければと思います。よろしくお願いします。

○村上委員 ホームページもよろしいんですけどね、ホームページを見れない方、また、支所に来れない方、また、非常に牟礼地区は高齢化をしてますので、老人の一人暮らしとかいう方が多いんで、できましたら市報あたりで、何か月か遅れてもいいんですけども、牟礼町の第1回審議会で、こんなことしてましたよというのを載せていただいたら、一人暮らしの老人の方なんかも見れるんでないかと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（濱川会長） 以上で、本日の会議日程はすべて終了いたしました。

皆様方には、大変御協力を賜りまして、円滑に進行できましたことを厚く御礼申し上げます。

どうも本日はありがとうございました。

会議次第7 閉会

○事務局（四角課長補佐） これをもちまして、牟礼地区地域審議会第1回会議を閉会いたします。

大変お疲れ様でございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

午後0時 閉会